

第17回 信州環境 ECO コンテスト

テーマ 「おらほの空き家 ～利活用のその^さき^き未来～」

審査結果

公益社団法人 長野県建築士会

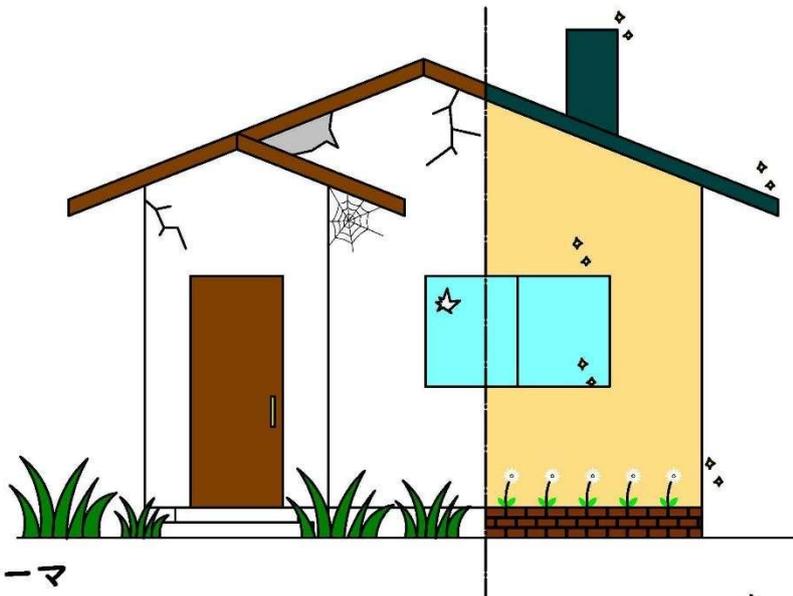
青年・女性委員会

令和7年12月20日(土)

第17回

信州環境ECOコンテスト

設計アイデアコンペ



テーマ

おらほの空き家 ～利活用のその未来～

コンテスト趣旨

-あなたは、自分の街が好きですか？-

私たち建築士は、街の景観を良くも悪くも変えていける職業です。

誰かのために建物を造り、そのひとつひとつが集まり、街ができます。

このコンテストでは地域を調べて・知って・詳しくなって、地域の魅力を知り、それを具現化してプレゼンすることで建築の楽しさを知っていただきます。

応募締切 2025年10月31日（金曜日）必着

主催 公益社団法人 長野県建築士会

後援（予定） ・長野県 ・長野県教育委員会 ・長野県木材協同組合連合会 ・信州木材認証製品センター

問い合わせ先 長野県建築士会WEBサイトにて <http://www.nagano-kenchikushikai.org/>

第17回 信州環境ECOコンテスト

【テーマ】

おらほの空き家 ～利活用のその未来～

近年日本では、少子高齢化や人口減少に伴い、空き家が増加し、社会問題となっています。空き家を放置すると景観の悪化や倒壊する危険など様々な問題を引き起こすリスクがあり、地域の衰退を招く原因となります。しかし、見方を変えれば空き家は地域の未来を豊かにする可能性を秘めた宝物となります。

皆さんの若い感性と自由な発想が地域の新たな価値を創造し、未来を拓く力となることを期待します。

【提案条件】

- 1.提案はコンテストの趣旨に沿ったものとする事。
- 2.建設地は長野県内とし、信州の魅力を感じられるアイデアやデザインを取り入れること。
- 3.地域の課題や思い描く未来に対して、空き家を利活用する事により、どんな効果をもたらすのかを表現する事。
- 4.構造の指定は無し。規模は一軒家程度(200㎡以内)
- 5.立地環境(住宅街・商店街・田園・水辺など)や建物の実在・仮想などは各自設定する事。
- 6.ECOの解釈は自由な発想で捉えて提案してください。省エネや創エネのみならず、長く使い続ける工夫や、気候風土に関心を持つ仕組み、自然を好きになるきっかけ作り等もエコロジーの大切な視点です。

【注意事項】

- ①応募作品は、二次審査（公開審査）会場にて展示をします。
- ②応募作品は特別な理由を除いて返却はできません。
- ③応募作品に関する一切の権利は、主催者側に帰属します。
- ④ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

【主催】

公益社団法人 長野県建築士会



TEL 026-235-0561

mail info@nagano-kenchikushikai.org

※本コンテストは青年・女性委員会が担当しています。

【後援】(予定)

長野県、長野県教育委員会、長野県木材協同組合連合会、信州木材認証製品センター

【応募資格】 長野県内の学生等

※グループ、個人は問いません。

【応募期間】 令和7年10月10日(金)～令和7年10月31日(金) 必着

【応募要領】 A3用紙1枚とする。表現方法は自由とし、提案の趣旨や内容が分かりやすく伝わるように表現すること。

【提出方法】 作品提出先へDVDの郵送または持ち込み
作品はA3サイズのPDF形式とし、そのファイル名は「No. 学校名 氏名」としてDVDに保存してください。複数名が応募する際は、学校単位で応募し、学年別にフォルダ分けしたものをDVDに保存してください。応募者の氏名等は応募作品一覧表（応募シート）にしたがって内容を記入し同封してください。
※応募作品一覧表(応募シート)は当会ホームページよりダウンロードができます。
応募後の作品及び応募シートに記載された内容の変更はできません。

【審査方法】 審査は一次審査（書類審査）、二次審査（公開審査）の二段階方式で行います。

◇一次審査（書類審査）

全応募作品を対象に青年・女性委員会で作品を審査し、一次審査通過作品は応募者または、各学校へ書面にて通知します。

◇二次審査（公開審査）

一次審査通過作品による作品のプレゼンテーション(4分)および審査員からの質疑形式による公開審査を行います。全発表・質疑応答が終了した後、入賞作品を決定します。
※一次審査通過者には、二次審査のプレゼンテーション用データを準備していただきます。
データ容量、表現方法(当日、模型持ち込みも可)は自由となります。発表用に使用するPCはデータエラーを防ぐため、極力ご持参をお願いいたします。ご持参できない場合は、運営側のPCをご使用ください。その際は最善を尽くしますが、データエラーが発生する可能性がありますのでご了承ください。

【審査員】 長野県デザイン振興協会

(予定)

長野県建設部
長野県工業高等学校校長会 会長
公益社団法人 長野県建築士会 会長他 ※順不同敬称略

【表彰・発表】 最優秀賞、優秀賞 他（個人）、最優秀校賞（団体）は二次審査にて発表を行う。後日、(公社)長野県建築士会ホームページに掲載を行う。

【問い合わせ・作品提出先】 〒380-0872 長野県長野市大字南長野字宮東426-1
TEL026-235-0561

公益社団法人 長野県建築士会 事務局

【スケジュール】 ◇一次審査結果発表：令和7年11月上旬を予定
◇二次（公開）審査：令和7年12月中旬実施予定
◇ワークショップ：建築士がテーマに関するワークショップを随時開催いたします。お問い合わせください。

【その他】 諸般の事情により、審査方法等を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

令和7年度
第17回 信州環境ECOコンテスト 最終審査結果

賞	氏名	所属	学科	学年	タイトル
最優秀賞	櫻井 旭	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	2	食の交差点
優秀賞	大邊 寿美香	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	2	Support the challenge ～お試し起業スペース～
奨励賞	曾根 大雅	長野県長野工業高等学校	建築学科	2	県住放課後コミュニティ
審査員特別賞	毛利 咲日	長野県長野工業高等学校	建築学科	3	交流の町へ飛び込む
入賞	坂巻 雫月	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	1	1組限定 信州ねこ宿 ～保護猫と過ごす安らぎの宿～
入賞	酒井 星莉菜	長野県長野工業高等学校	建築学科	2	空き家の脱マンネリ化！！
入賞	帯向 ももか	長野県池田工業高等学校	建築学科	1	まちと人をむすぶ家 ～空き家からはじまる交流～
入賞	北林 ゆりあ	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	1	結いの家～人と人世代と世代をつなぐ街の小さな拠点～
入賞	山崎 恵真	長野県長野工業高等学校	建築学科	1	防災×エコハウス ～防災要素とECOのHarmony～
入賞	越山 裕伍	長野県池田工業高等学校	建築学科	2	空き家を古民家カフェに
入賞	青木 繁大	長野県長野工業高等学校	建築学科	1	空き家の人工林化 ～空き家を媒介とする木質資源育成循環～
入賞	石川 ノウミ	長野県上田千曲高等学校	建築科	2	アーキノート～建築の未来を育てる場所～
入賞	浦本 秀大	長野県丸子修学館高等学校	総合学科	3	空き家の有効活用

※入賞は発表順に掲載

最優秀校賞	応募学校名	応募作品数
○	長野県飯田OIDE長姫高等学校	80
	長野県上田千曲高等学校	10
	長野県池田工業高等学校	32
	長野県長野工業高等学校	82
	長野県丸子修学館高等学校	5
	合計	209

(順不同)

料理に使用した
松川町産の野菜
やお肉、果物が
「町の産品」が
分かる特製
マップを用意。
食事をきっかけに
お客様と生産者
地域の方との交流
が生まれる所へ。



食の交差点

古き良き空き屋を2つの飲食店にすることで松川町の良さを
知ってもらい、愛着を込めて食材を育てる生産者の方々と、観光客、
地元の人たちとが繋がる「食の交差点」になってほしいと考えました。

「くだもの里」として知られる松川町
ですが、この飯田下伊那では焼肉
文化も強く根付いています。
伊那では地元産の牛肉や豚肉、さら
に鹿などのシシエ肉、そして採れたての
新鮮野菜をお客様自身が炭火
焼きで楽しむことができる空間
です。もちろん焼肉に欠かせないお米
も松川町では米栽培も盛んで
産上米や受賞米なども多く出
ているのでそんなお米も味わって
もらいたいです。
そして、その食事で使われた野菜、
肉、果物も2F皆のカフェ内にある
マルシェのスペースを設けることで
生産者の方々に気軽に販売して
もらい、利用者や生産者の方たち
との交流の場になってほしいと
考えました。



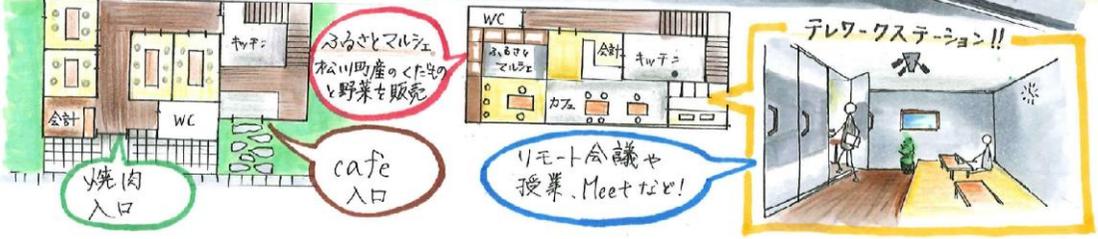
1F 昭和レトロな焼肉屋さん

古民家特有の
「趣」を生かして
昭和の懐かしさ
を感じられる焼肉屋
さんになりました。
ここでは松川の
生産者が手間暇かけて
作った野菜やお肉を
提供します
また飯田下伊那の
ジビエ肉もおしく
提供します



2F Cafe & ふるさとマルシェ

2Fも古民家
ならではの梁や
柱、建具などを
あえて残し、おちつける
雰囲気のカフェにしました。
ここでは松川町のくだ
ものを多く使ったデザート
やコーヒー、お茶など
を提供します。
マルシェも同じ空間
に作ることで生産者
との交流や松川町
のくだもの購入
もできるようにしました。



ECO POINT

- 地産地消をすることで輸送トラックなどからのCO₂の排出を削減
- 規格外のくだものを食材として使うことでフードロスの解決
- ジビエ肉を使うことでイノシシやシカの増えすぎを防ぎ自然を守る

Support the challenge

～お試し起業スペース～

空き家問題は、人口減少や高齢化、都市部への人口集中などで、空き家が増加しそれが原因で生じる様々な社会問題。

都市への人口集中の背景には
 ・産業の中心外農林部の農業から都市部の工業・サービス業へのシフト
 ・教育、文化、娯楽などの生活の利便性の高いことで人々が移住
 ・成功の機会が豊富



そこで
 空き家を誰にも気軽にチャレンジできる

『お試し起業スペース』に

リフォームすることを考えました。

勉強スペース

・学生などの勉強スペースWiFiや電源などが整っているため集中して仕事や勉強ができる。

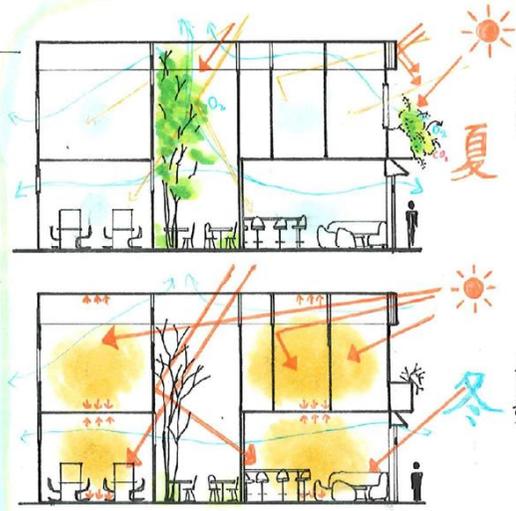
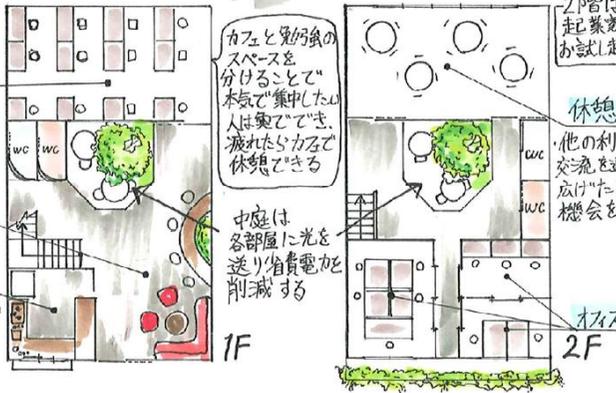
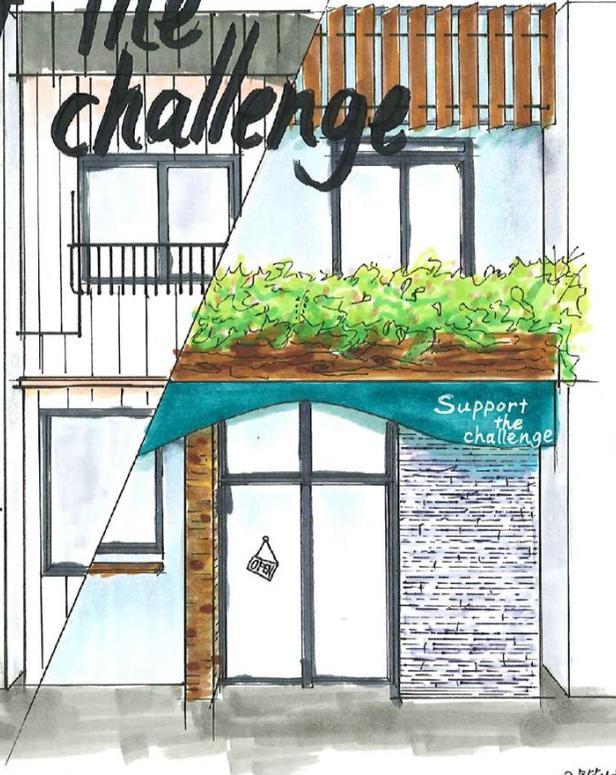
フリーワークスペース

・勉強スペースとは違い「あたたかな場所」で仕事や勉強ができる。

お試しカフェキッチン

・飲食店をしたい人が「お試し」でお店をオープンできる。

・この「お試し起業スペース」で起業している人たちが利用して、他利用者の交流で「お互いにリスペクト」しあえるようになる



① ECOな設計

パッシブデザイン

・自然エネルギーを最大限に活用し、冷暖房や照明などの設備に頼りすぎずに快適な室内環境を実現する

植栽

・CO₂をO₂に変えて室内に取り込む

LED照明

太陽光パネル

節水型トイレ

電力使用の見える化
 ・数値やグラフで確認できる

② 社会的・経済的なECO

・地域経済の活性化

・持続可能な地域づくり

ECOポイント

各場所の用途やそのスペースによる効果

- ・勉強スペースとカフェ
 カフェを入れることで「絶対静かにしないといけない」という空気をやわらげて「あたたかな空間を作り、勉強と休憩の切り替えができる」
- ・オアシス
 人数によってオアシスを広くしたり狭くしたりできる
- ・お試し期間が終わり、自分の店をもちたり、自業の拡大、また、別の道を選ぶときに互いに応援しあえる。